

## ◇ 遺言書の検認を申し立てる方へ ◇

### 1 手続きの概要

遺言書(公正証書による遺言を除く。)の保管者又はこれを発見した相続人は、遺言者の死亡を知った後、遅滞なく遺言書を家庭裁判所に提出して、その「検認」を請求しなければなりません。また、封印のある遺言書は、家庭裁判所で相続人等の立会いの上開封しなければならないことになっています。検認とは、相続人に対し遺言の存在及びその内容を知らせるとともに、遺言書の形状、加除訂正の状態、日付、署名など検認の日現在における遺言書の内容を明確にして遺言書の偽造・変造を防止するための手続です。遺言の有効・無効を判断する手続ではありません。

### 2 申立てできる方

遺言書の保管者 または 遺言書を発見した相続人

### 3 申立先

遺言者の最後の住所地の家庭裁判所

### 4 申立てに当たり提出をお願いするものは、次のとおりです。

※審理のため必要な場合は、戸籍等の書類や郵便切手等の追加提出をお願いすることがあります。

- 申立書
- 下記5に記載の書類
- 収入印紙 800円分×遺言書の通数
- 郵便切手 82円×2枚×相続人等の人数分(申立人含む)

### 5 添付書類

※同じ戸籍等は1通で足りません。

※申立前に入手が不可能な戸籍等がある場合は、申立後に追加提出することでも構いません。

#### 【共通】

- ①遺言者の出生時から死亡時までのすべての戸籍(除籍、改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)
- ②相続人全員の戸籍謄本(全部事項証明書)
- ③遺言者の子(及びその代襲者)で死亡している方がいる場合、その子(及びその代襲者)の出生時から死亡時までのすべての戸籍(除籍、改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)

#### 【相続人が遺言者の(配偶者と)第二順位相続人(直系尊属)の場合】

- ④遺言者の直系尊属(相続人と同じ代及び下の代の直系尊属に限る(例:相続人が祖母の場合、父母と祖父))で死亡している方がいる場合、その直系尊属の死亡の記載のある戸籍(除籍、改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)

#### 【相続人が不存在の場合、配偶者のみの場合又は(配偶者と)第三順位相続人(兄弟姉妹及びその代襲者としてのおいめい)の場合】

- ④遺言者の父母の出生時から死亡時までのすべての戸籍(除籍、改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)
- ⑤遺言者の直系尊属の死亡の記載のある戸籍(除籍、改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)
- ⑥遺言者の兄弟姉妹に死亡している方がいる場合、その兄弟姉妹の出生時から死亡時までのすべての戸籍(除籍、改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)
- ⑦代襲者としてのおいめいに死亡している方がいる場合、そのおい又はめいの死亡の記載のある戸籍(除籍、改製原戸籍)謄本(全部事項証明書)

または

#### ①「認証文付き法定相続情報一覧図の写し」

- ②相続人全員の戸籍謄本(全部事項証明書)(※遺言者の死亡日から3か月を経過している場合)

法定相続情報証明制度をご利用される場合は、<i>i</i>必要書類(戸除籍謄本、住民票除票等)を収集し、<i>ii</i>法定相続情報一覧図を作成のうえ、<i>iii</i>法務局に申出をしてください。

この制度についてご不明な点がある場合は、法務局のホームページをご覧ください。お近くの法務局(金沢地方法務局Tel076-292-7869)までお問合せください。

## 6. Q & A

Q1. 相続人には、検認手続が行われることをだれが連絡するのですか。また、相続人のなかには、高齢で出頭できない人がいるのですが、問題ありませんか。

A. 相続人には、申立後、裁判所から検認期日（検認を行う日）の通知をします。申立人以外の相続人が検認期日に出席するかどうかは、各人の判断に任されており、全員がそろわなくても検認手続は行われます。

Q2. 検認期日には何を持って行けばよいのですか。

A. 申立人は、遺言書、申立人の印鑑、下記Q 4に記載の収入印紙のほか担当者から指示されたものを持参してください、特に、遺言書は忘れないように、必ず持参してください。

Q3. 検認期日には、どのようなことを行うのですか。

A. 申立人から遺言書を提出していただき、出席した相続人などの立会のもと、封筒を開封し、遺言書を検認します。

Q4. 検認が終わった後は、どうすればよいのですか。

A. 遺言の執行をするためには、遺言書に検認済証明書が付いていることが必要ですので、検認済証明書の申請（遺言書1通につき150円分の収入印紙と申立人の印鑑が必要となります。）をしてください。

受付印		<b>遺言書の検認申立書</b>	
		(この欄に収入印紙800円分を貼ってください。)	
収入印紙	円		
予納郵便切手	円		(貼った印紙に押印しないでください。)

準口頭		関連事件番号 平成 年(家 )第 号
-----	--	--------------------

家庭裁判所 御中	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	印
平成 年 月 日		

添付書類	
------	--

<b>申立人</b>	本籍	都道府県
	住所	〒 - 電話 ( ) (方)
	連絡先	〒 - 電話 ( ) (方)
	フリガナ氏名	大正昭和 年 月 日生 平成
	職業	
<b>遺言者</b>	本籍	都道府県
	最後の住所	
	フリガナ氏名	大正昭和 年 月 日生 平成
	死亡年月日	平成 年 月 日

(注) 太枠の中だけ記入してください。

申 立 て の 趣 旨

遺言者の自筆証書による遺言書の検認を求めます。

申 立 て の 理 由

1 申立人は、遺言者の\_\_\_\_\_です。

2 申立人は、下記の理由により、遺言者の遺言書を保管しているので、検認を求めます。  
なお、遺言者の相続人等は、別紙の相続人等目録記載のとおりです。

※

(1) 申立人が遺言者から 昭和・平成 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日に自筆の遺言書の交付を受けて預かり、下記の場所で保管してきた。

(2) 申立人が平成\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日に下記の場所で発見した。

(3) 遺言者が貸金庫に保管していたが、遺言者の死後、申立人が平成\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日から下記の場所で保管している。

(4) その他 ( \_\_\_\_\_ )

記

(場 所) \_\_\_\_\_

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲んでください。

相 続 人 等 目 録


※	本 籍	都 道 府 県
	住 所	〒      -      電話      (      ) (      方)
	連 絡 先	〒      -      電話      (      ) (      方)
	フリガナ 氏 名	大正昭和 平成      年      月      日 生
	職 業	被相続人 との続柄
※	本 籍	都 道 府 県
	住 所	〒      -      電話      (      ) (      方)
	連 絡 先	〒      -      電話      (      ) (      方)
	フリガナ 氏 名	大正昭和 平成      年      月      日 生
	職 業	被相続人 との続柄
※	本 籍	都 道 府 県
	住 所	〒      -      電話      (      ) (      方)
	連 絡 先	〒      -      電話      (      ) (      方)
	フリガナ 氏 名	大正昭和 平成      年      月      日 生
	職 業	被相続人 との続柄
※	本 籍	都 道 府 県
	住 所	〒      -      電話      (      ) (      方)
	連 絡 先	〒      -      電話      (      ) (      方)
	フリガナ 氏 名	大正昭和 平成      年      月      日 生
	職 業	被相続人 との続柄
※	本 籍	都 道 府 県
	住 所	〒      -      電話      (      ) (      方)
	連 絡 先	〒      -      電話      (      ) (      方)
	フリガナ 氏 名	大正昭和 平成      年      月      日 生
	職 業	被相続人 との続柄

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、相続人，受遺者，利害関係人の区別を記入してください。

記載例

	受付印	<b>遺言書の検認申立書</b>
		(この欄に収入印紙800円分を貼ってください。)
収入印紙	円	
予納郵便切手	円	
		(貼った印紙に押印しないでください。)

準口頭		関連事件番号 平成 年(家 )第	号
-----	--	------------------	---

金 沢 家 庭 裁 判 所 御 中 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	申 立 人 (又は法定代理人など) の 記 名 押 印	甲 野 一 郎	
--	-----------------------------------	---------	---

添付書類	添付書類については、このページの先頭の「遺言書の検認」の5(2)で確認してください。
------	--

<b>申立人</b>	本 籍	○ ○ 都 道 府 (県) ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 丁目 ○ 番地
	住 所	〒 ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ ○ ○ 県 ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 丁目 ○ 番 ○ 号 電話 ○ ○ ○ ( ○ ○ ○ ) ○ ○ ○ ○ ( ) 方
	連 絡 先	〒 - 電話 ( ) ( ) 方
	フリガナ 氏 名	コウ ノ イチ ロウ 甲 野 一 郎
職 業	会 社 員	大正 昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 生 平成
<b>遺言者</b>	本 籍	○ ○ 都 道 府 (県) ○ ○ 市 ○ ○ 町 ○ 丁目 ○ 番地
	最後の住所	申立人の住所と同じ
	フリガナ 氏 名	コウ ノ タ ロウ 甲 野 太 郎
	死亡年月日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

(注) 太枠の中だけ記入してください。



記載例

相 続 人 等 目 録

※	本 籍	〇〇 都 道 府 県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番地	
	住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 ( ) ( ) 方) 〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番 〇〇号	
	連 絡 先	〒 - 電話 ( ) ( ) 方)	
	フリガナ氏 名	コウ ノ イチ ロウ 大正 昭和 〇年 〇月 〇日生 甲 野 一 郎 平成	
	職 業	会 社 員	被相続人との続柄
※	本 籍	〇〇 都 道 府 県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番地	
	住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 ( ) ( ) 方) 〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番 〇〇号 〇〇アパート〇〇〇号室	
	連 絡 先	〒 - 電話 ( ) ( ) 方)	
	フリガナ氏 名	コウ ノ ジ ロウ 大正 昭和 〇年 〇月 〇日生 甲 野 次 郎 平成	
	職 業	会 社 員	被相続人との続柄
※	本 籍	〇〇 都 道 府 県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番地	
	住 所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 ( ) ( ) 方) 〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇丁目 〇番 〇〇号 〇〇コーポ〇〇〇号室	
	連 絡 先	〒 - 電話 ( ) ( ) 方)	
	フリガナ氏 名	オツ ノ ハナ コ 大正 昭和 〇年 〇月 〇日生 乙 野 花 子 平成	
	職 業	無 職	被相続人との続柄
※	本 籍	都 道 府 県	
	住 所	〒 - 電話 ( ) ( ) 方)	
	連 絡 先	〒 - 電話 ( ) ( ) 方)	
	フリガナ氏 名	大正 昭和 年 月 日生 平成	
	職 業		被相続人との続柄
※	本 籍	都 道 府 県	
	住 所	〒 - 電話 ( ) ( ) 方)	
	連 絡 先	〒 - 電話 ( ) ( ) 方)	
	フリガナ氏 名	大正 昭和 年 月 日生 平成	
	職 業		被相続人との続柄

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、相続人、受遺者、利害関係人の区別を記入してください。